

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

心の中を見つめよう
博愛を広げるために

第 2424回 例会

平成 23年 11月 18日 (金)

天候 曇り

合唱 我等の生業

四つのテスト

会 長 伊藤 伸之

幹 事 望月 博文

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町土肥 1-14-25

中川方 TEL/FAX 0465(62)3056

例会場 静岡県熱海市泉 107/TEL0465(63)3721

ニューウェルシティ湯河原

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

朝晩急に寒くなって来ましたが会員の皆様方もお体には十分気を付けて頂きたいと思えます。

今月はロータリー財団月間です。長い間国際親善奨学生に代表される教育的プログラムから次第に人道的支援がロータリー財団の奉仕の主流になってきました。特に人道的分野でのマッチンググラントは小額のプロジェクトが急激に増えたため補助金を上回る経費とともに膨大な事務量を生じ人的対応が追いつかなくなっていました。そこでロータリー財団は2005年に「未来の夢計画」委員会を発足させました。2017年にロータリー財団100周年を迎えたとき財団がいかにあるべきかの検討を始めました。詳しくはロータリーの友11月号横14ページをお読み下さい。本日の卓話は 地区から山田雅孝さんにお越し頂きロータリー財団の元で進行している「未来の夢計画」について説明が頂けると思えます。山田さんのご紹介は後ほど高杉財団委員長からして頂きます。どのようにロータリー財団活動が変化しているのか地区ロータリー財団副委員長でありかつ「未来の夢計画」委員長である山田さんからお話を伺いたいと思えます。

幹事報告

ガバナー

1. タイ洪水被害への義捐金のお願い
1名 10000円 11/28〆切
2. 東日本震災復興基金寄付の受け入れは
23年6/30まで延長されます。
大口寄付を除くポールハリスフェロー・
マルチプルフェローの認証は12/31まで

連絡事項

12/16は通常例会と致します。
12/23は忘年会を予定しています。
詳細は後日

本日のお客様

山田雅孝君 平塚西RC 未来夢計画地区委員長
RI財団地区副委員長

スマイルBOX

山田雅孝君 本日は財団月間卓話者としてお招きありがとうございました。初めて訪問させていただきますが、よろしくお願ひいたします。

伊藤伸之君、高杉尚男君
ロータリー月間でお忙しい中、卓話に来て頂ありがとうございました。

杉山茂久君 昨日、小田原税務署署長表彰をいただきました。

常盤章夫君 会員誕生日
土屋一弘君 結婚記念日 11/17
稲葉 隆君 結婚記念日 11/21
高杉尚男君 結婚記念日 11/22
平間章弘君 入会記念日 16年

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 1名	
	会員 26名	欠席 7(2)名	出席率 79.17%
	前回の修正出席率 95.45%	前々回の修正出席率 83.33%	

高杉尚男君

本日は、平塚西RC、未来夢計画委員長並びにR財団副委員長の山田雅孝様にゲストスピーカーとしてお話しして頂く事になりました。

山田雅孝君 平塚西RC
財団月間卓話

未来の夢計画への移行について

未来の夢計画委員会
山田雅孝(平塚西RC)

本日は、財団月間卓話としてお招きを頂き誠に有難うございます。分かり難い、何をすべきかが見えないなど、あまり前評判の好くない「未来の夢計画」であります。この変革プロセスは、ドラッカーの『マネジメント』そのものであると個人的には感じております。事業経営者の立場でご覧頂くと、興味深いものがあるかもしれません。

組織の衰退は、内向きで外部環境に無関心なときや、価値観が時代に合わなくなったときに、その組織の存在価値が失われるといわれています。今まさに国際ロータリーの戦略計画は「より存在価値のあるロータリーを目指し動き始めました。同様にロータリー財団も「Future Vision Plan」所謂「あるべき姿、望ましい「明日へのロータリー財団」を目指し、その手法を大きく変えようとしています。筋のいいシナリオは誰もが行く先を信じられることですが、もし今日の説明で可能性が見えないとしたならば“Future Vision Plan”が悪いのではなく、私の伝え方が未熟であるということです。その場合は是非 Web の rotary.org.ja でご理解を深めて頂ければ幸いです。

それでは、本題に這入ります。『地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク』というロータリーの中核となる価値観の下で、人道的奉仕の重点化と増加、それも6つの重点分野を中心として、他団体との協力やつながりを深め、地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造することです。それは、ロータリーの公共的イメージと認知度の向上を目指しているからです。

今までと大きな違いは、『寄付さえすれば責任を果たした』では済まないことです。使命を果たすためには、自らの行動を伴ったプロジェクトの推進であります。

大事なことは、手法は変わっても「ロータリーの綱領」や「国際ロータリーの使命」は変えてはならないことであると思えます。

国際ロータリーの使命は、「他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進すること。」

◆財団の新しい標語は

「世界でよいことをしよう」

◆財団の使命は

「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」であります。

国際的にはこの20年間、人道的ニーズや教育的ニーズに取り組むためにロータリー財団からの支援に頼る傾向が年々強まっています。

ロータリアンからの財団への惜しみない寄付が増えると同時に、人道的・教育的ニーズへの取り組み方法が数多く提案され、ロータリー財団は新しいプログラムを提供してきました。しかし、優れた功績が国際的に認知されたのは、ポリオ撲滅活動でした。

一方、教育的と人道的プログラムは、活動が増えたため、大きな影響と持続可能な成果をもたらすことが難しくなると同時に、補助金申請数の増加に伴い、手続きが複雑になり、効率も悪くなりました。

経験から学んだ教訓を生かした大きな変革により、もっと発展していくべきだ、という要望の声が、ロータリアンから聞かれるようになりました。そこで、未来の夢計画は、次のような視点で纏められています。

- ・これは、ロータリー財団の長期計画です。
- ・財団がクラブと地区に補助金を提供する新しいアプローチです。
- ・ポリオ・プラス、保健・飢餓追放・人間的尊重(3-H)補助金、国際問題研究のためのロータリー・センターなどに見られる財団プログラムのこれまでの成果に基づき発展させる方法です。
- ・地区レベルとクラブ・レベルにおける財団活動を担当する委員会の新しい構成と組織方法です。

調査や座談会に参加した世界中の何万人というロータリアンからの意見を基に、未来の夢計画の目的は、以下のように定められました。大きなクラブ・プロジェクトの成果を受益者にもたらしするために

- ・補助金活動全般の焦点を絞る。
- ・これまで以上に決定権を地元委ねる。
- ・財団資金とロータリーの資源を最大限に生かすため組織レベルで他団体と協力する。
- ・補助金手続きを迅速に処理するために、R財団を簡素化する
- ・地元と海外におけるロータリーの認知度と公共イメージを高める

未来の夢計画が始まる、2013年度以降においては、DDFを使う現行プログラムの殆どは廃止されますが、各クラブの意向を集約した当地区の新方針が決まりましたので、早急に取り組みの準備を開始する必要があります。

先ず各クラブにおいて、私たちのロータリー財団であるという意識が必要です。より深く理解して頂くよう用意されたウェビナー、参考資料を是非ご活用ください。

☆新地区補助金について

新地区補助金では、裁量権が大幅に地区レベルに移行され、柔軟になります。地元や海外での小規模な活動やプロジェクトに対し、地区にまとめて支給され、財団の使命に沿った活動に使用されます。

☆当地区における補助金申請の手順

- ・プロジェクトの提案書提出期間は実施前年度の12月1～15日に、申請書は2月11日～末日に受け付けます。(募集要領は2012年3月までに広報の予定です)
- ・クラブへの補助金の支給は7月以降です。
- ・財団本部への報告書を作成するために、クラブから「プロジェクト終了報告書」並びに事業の評価書を提出して頂きます。

☆グローバル補助金について

グローバル補助金は、長期的で持続可能なプロジェクトに授与される補助金で、重点分野の1つに該当すること。最低15,000米ドル(総予算30,000ドル)以上の比較的高額なプロジェクトであることです。

地区財団活動資金(DDF)に対し同額がWFから出ます。また、現金拠出に対しては50パーセントが上乘せされます。パッケージ・グラントは、100パーセント、国際財団活動資金(WF)で賄われます。

☆持続可能性等の適用条件について

- ・財団資金に基づくプログラム終了後も、プロジェクト計画が持続されること。
- ・地元のリソース、地域内の考え方や意見、現地の人々の知識を活用すること。
- ・天然資源基盤を大切に、現地の環境を悪化させたり、破壊したりしないこと。
- ・適宜、最大数の人々に恩恵を与えること。
- ・財団の重点分野に関連する職業分野で、奨学生やその他の人々が画期的な新手法に貢献できるようにすること。
- ・参加者が活動を行っている地域社会や職業で大きな影響をもたらす、効果を高められるようにすること
- ・ロータリー地域社会共同隊など、草の根の人々や団体の意見やスキルを生かし、プロジェクトと活動の継続性を図ること。……

などの条件があります。

財団は、クラブや地区が立案した持続可能で大規模なプロジェクトに対し、資金を上乘せして援助します。

また、パッケージ・グラントという形で、管理委員会が指定した、既成の活動にクラブと地区が参加するための資金を全額支給することもできます。

☆六つの重点分野

1. 平和と紛争予防・紛争解決
2. 疾病予防と治療
3. 水と衛生設備
4. 母子の健康
5. 基本的教育と識字率向上
6. 経済と地域社会の発展

未来の夢の主な目的は、ロータリアンが実施するプロジェクトと活動の影響力を高めることであり、受益者に大きな影響を与えるプロジェクトを開発ができるようになります。こうしたプロジェクトは、ほかのクラブや地区と協同で実施されます。

未来の夢は、2種類の補助金に限定します。財団は、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの派遣と受入れに対して、同じアプローチを用いて資金を支給することができます。また、補助金の報告要件も合理化される一方、補助金支払いプロセスが早くなります。事前の研修、改善された地区委員会構成、明確な資金管理、電子送金による支払いといった方法を積極的に導入することで、補助金申請書の提出時から補助金支給までにかかる時間が短縮されます。

☆プロジェクト計画の キーポイント

- ・R財団の資金を利用する全てのプロジェクトは、ロータリアンが管理します。
- ・各補助金は、3名のロータリアンから成る委員会を設置し、この委員会のメンバー全員が役割と責務を分担します。
- ・利害関係があると思われる会員は、この委員会に任命すべきではありません。
- ・計画の立案は、測定可能、持続可能、達成可能な目標を設定することから開始します。
- ・現地について最新のデータを集めます。このデータに基づき、測定可能なプロジェクト目標を立てます。
- ・補助金が全て使用された後、プロジェクトがどのように継続、維持されていくかについても検討します。
- ・物資の購入と配布、建設、研修をはじめとする活動の詳細と予定時期を決めます
- ・詳細な予算と予定表を作成します。
- ・プロジェクトに関する賠償責任を考慮し、クラブを法的に保護する手配を整えます
- ・補助金の関連書類を保管するシステムを定めます。

☆ニーズ調査キーポイント

- ・プロジェクトを成果の大きなものにするには、地域社会に実在するニーズを取り上げることが重要です。

- ・ロータリアンは、地域社会が何を必要としているかを知るために、地元のさまざまな人々の協力を得る必要があります。
- ・ニーズが分ったら、クラブおよび協力の可能性のある団体が持つリソースや、協力する意思があるかどうかを見極めた上で、どのニーズに取り組むかを検討します。協同提唱者（協力団体）には、ほかのロータリー・クラブ、地区、ロータリー財団、ロータリー以外の団体などがあります。
- ・クラブが取り組むことのできる地域社会のニーズは何か、協力団体からどのような支援が得られるかに基づいて、プロジェクトを選びます。

☆DDFの地区配分方法

実行初年度 2013-14 年の財団活動資金（DDF）は約 20 万ドル。新地区補助金に 50% の 10 万ドル、その内 3 万ドルは地区直轄事業に使用し、残額をクラブや共同チームに充当します。

グローバル補助金も DDF として 10 万ドルが活用できます。その内 5 万ドルは地区直轄事業に使用し、残額をクラブや共同チームに充当します。

- 1) 新地区補助金は地区に裁量権がありますが使える補助金には限りがありますので、どこに重点的配分するか決める必要があります。

①. RI では、人道的奉仕に重点を置くという方針がありますが、暫くの間当地区では特に定めないこととします。

②. 援助先の地域を地元地域社会と海外との比率も当面定めないこととします。

- 2) 同様にグローバル補助金も人道的と教育的奉仕の配分を固定しないこととします。個々に割り振りますと、使える予算は非常に限りがあることに気付かれたと思います。

今までの財団プログラムは、既製品の定食メニューしかありませんでした。毎年同じ繰り返しでもよかったのですが、これからは、すべてが手作りのメニューです。

皆さんがやりたいことが決まると具体的にどのくらいの寄付が必要かも実感として湧いてくるでしょう。

それでは、試験地区が行った事例を紹介しします。第 2650 地区は、2010-11 年度新地区補助金を申請するようクラブに呼びかけました。27 万 1,000 米ドルの補助金が承認され、7 月 1 日に財団から支払を受けた後、地区は直ちに 42 のプロジェクトに資金を分配しました。新地区補助金の申請過程で既に使用計画を作成済みであったため、申請や報告の手続きがスムーズに行われました。

この補助金で、フィリピンの村にコンピューター、マシンなど、職業研修に必要なさまざまな備品を提供しただけでなく、地震で壊れた陝西省の小学校校舎を修復するプロジェクトも実施しました。

さらに、奨学金を含むさまざまな地元地域に根ざしたプロジェクトも実施しました。

この地区では、未来の夢試験的プログラムに参加する以前は、多くのクラブが、様々なプロジェクトを実施できる新地区補助金の柔軟性をうまく理解できなかったそうです。しかし、「授与と受諾の条件」などを参照することで内容を理解し、未来の夢計画を支援してくれるようになっただけでなく、より多くの会員が活動に参加するようになったそうです。

☆グローバル補助金申請のステップ

重点分野に沿った大規模プロジェクトに資金を活用できるグローバル補助金は、クラブや地区がいくつかのプロジェクトを 1 つの申請書で申請できるという利点があります。例えば、人道的奉仕プロジェクトと職業研修チームを組み合わせた 1 つのグローバル補助金を申請することができます。グローバル補助金申請は 1 年中いつでも申請でき、計画と準備に柔軟性が与えられています。

クラブがグローバル補助金を受け取るには、参加資格を満たしていなければなりません。

- A. 地区は、ロータリー財団の研修用リソースを用い、補助金管理および参加資格に関する研修を提供します。
- B. 地区は、財団が定めている以下の最低条件を満たしている場合に限り、参加資格に関する独自の計画、条件、地区内クラブに参加資格を付与するための指針を設けます。

1. クラブは、財団が作成したクラブの覚書に同意し、署名する。
2. クラブ会長エレクト、またはクラブが任命した代表者が、補助金管理および参加資格に関する研修会に出席することで、「クラブの覚書」に署名し、財団や地区（該当する場合）が定めた要件を満たすための準備とともに、グローバル補助金を利用する準備を整えることができます。クラブが資格を満たすには、クラブ会計が、地区ロータリー財団補助金管理セミナーに出席しなければなりません。これに加え財団は、可能な限り、以下の参加者の出席も奨励しています。クラブの次期 R 財団委員長または委員、次期クラブ幹事 … などです。

未来の夢計画の試験段階は、新しい補助金モデルをさらに練り上げ、ロータリアンのニーズに合ったものに仕上げていくとともに、使命を果たすために財団がリソースを最大限に利用していく機会です。クラブからのご支援があれば、このビジョンは現実のものとなるでしょう。「ロータリーの未来はあなたの手の手に」あります。

ありがとうございました。